

めあて

古文に書かれている内容を理解しよう。

一 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

今は昔、竹取の翁と①いふ者ありけり。

野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。

名をば、さぬきの造となむ②いひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。

③あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光たり。

それを見れば、④三寸ばかりなる人、

いとうつくしうて⑤みたり。

(「竹取物語」より)

1 文章中に「①いふ」「②いひける」とあるが、この歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して書け。

2 文章中に「③あやしがりて」とあるが、この語の意味として最も適切なものを、次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア みすばらしい  
 イ 怖くなったので  
 ウ 不思議に思っ  
 エ 残念に思っ

3 文章中に「④三寸ばかりなる人」は、どのような姿で竹の中にいたか。次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア とてもさびしそうな姿で座っていた  
 イ とてもうれしそうな姿で座っていた  
 ウ とても美しい姿でじっと座っていた  
 エ とてもかわいらしい姿で座っていた

4 文章中に「⑤みたり」とあるが、誰の動作か。次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア 竹取の翁  
 イ さぬきの造  
 ウ 竹  
 エ 三寸ばかりなる人

1 ①

1 ②

2

3

4

振り返り